



Q：女性なので、やはり乳がんが心配です（50代・女性）

A：乳がんは女性で最もかかる頻度の高いがんですが、近年では早期発見・治療をすれば大部分の人が治すことができるので、死亡数ですと、1位が大腸がん、2位肺がん、3位胃がん、4位膀胱がんに次ぐ第5位となっています。

30歳代から急増し、40～50歳代に特に多く、自覚症状としては、乳房のしこり、痛み、皮膚のへこみやディンプリング（腫瘍をつまむと直上の皮膚にえくぼができる症状）、乳頭のひきつれや乳頭から血液の混じった分泌物が出るなどがあります。また、進行する

と脇の下にしこり（リンパ節転移）ができることもあります。

発生する部位では、乳頭を中心縦、横の線で4等分して考えると、外側上方が約50%と最も頻度が高く、次が内側上方で約20%です。また、危険因子としては、妊娠・出産歴がない、出産回数が少ない、初経年齢が低い、閉経年



齢が高い、飲酒、喫煙、高脂肪の食事などで、閉経後の女性では成人後の体重の増加が多いほど乳がんになりやすいと言われています。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F）

☎055・288・1801